

保護者様各位

横浜市立桂小学校
校長 本田 正道

平成 28 年度全国学力・学習状況調査の結果について

(6年生:4月19日実施)

○調査内容

①教科に関する調査(国語・算数)

A(主として「知識」に関する問題)

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- ・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能

B(主として「活用」に関する問題)

- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- ・様々な問題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力

②生活習慣や学習環境等に関する質問調査

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

○平均正答率

	国語A(知識)	国語B(活用)	算数A(知識)	算数B(活用)
桂小学校6年生	82	68	87	59
横浜市の差	+10	+8	+8	+10
横浜市	72	60	79	49
神奈川県	70	58	77	47
全国	73	58	78	47

※文部科学省と同様に平均正答率は整数値(%)で表しています。

- ・国語、算数共に全国、神奈川、横浜の平均正答率を8~12ポイントほど上回っている。
- ・国語Aでは、言語についての知識・理解・技能についての平均正答率が高いが、話す・聞く能力については、ほぼ全国・神奈川の平均正答率と同水準である。
- ・算数では、数量や図形についての知識・理解に比べ、数学的な考え方の平均正答率が低い。

○生活習慣・学習習慣について(質問紙調査結果より)

	本校	神奈川県(公立)	全国(公立)
普段(月~金)の就寝時間(午後11時以降)	29.0	12.8	10.8
普段(月~金)のテレビやビデオ・DVDの視聴時間(学習やゲームの時間を除く) 2時間未満	62.9	44.7	42.8

普段（月～金）のテレビゲームをする時間 （携帯や・スマートフォンを含む） 2時間以上	14.5	30.5	29.7
平日の学校以外の学習時間（学習塾や家庭 教師も含む）2時間以上	59.7	30.6	25.5
土日の学習時間（学習塾や家庭教師も含む） 4時間以上	32.3	11.7	6.7
学習塾で学校の勉強より進んだ内容や難し い内容を勉強している	48.4	31.7	23.1
学校に行くのが楽しいと思う（「どちらかと いえばそう思う」を除く）	75.8	55.6	55.2
学級みんなで協力して何かをやり遂げ、う れしかったことがある。	95.1	85.4	86.3

%で表示

- ・就寝時間が午後11時以降の児童の割合が全国・神奈川の平均に比べ多い。
- ・テレビの視聴時間や、テレビゲームの使用時間は、全国・神奈川の平均に比べ短い傾向にある。
- ・平日、休日ともに、学校以外での学習時間が全国・神奈川の平均に比べ、長い傾向にある。
- ・学習塾の内容では、学校の学習より進んだ内容や、難しい内容を勉強している児童が約半数いる。
- ・学校に行くのが楽しいと感じている児童が、神奈川・全国の平均に比べ多い。
- ・クラスで協力することに喜びを感じる児童が多い。

○生活習慣と学力の相関について

- ・学校以外での普段の学習時間が、2時間以上、また休日の学習時間が4時間以上の児童の学力は、正答率において、14ポイント高い。
- ・学習塾において、学校の授業より進んだ内容を学習している児童の学力は、正答率において、6ポイント高い。

○授業改善に向けて

- ・学校外での学習時間と学力の相関が認められる。質問紙調査の結果から、多くの児童の家庭学習に向かう環境は整っているものと思われる。一方そうでない児童もいるため、すべての児童の家庭での学習習慣の定着が必要である。学校としては宿題を工夫するなど、家庭との連携を一層深めていくことが望まれる。
- ・「聞く・話す」能力をより伸ばすためには、児童が必要感を感じるような、話し合い活動の充実が求められる。
- ・算数Bでは、「数値の意味を記述できる」「式の意味を記述で説明できる」の設問の正答率が低いことから、知識の本質を記述する力が必要であると考えられる。そのために学習形態等を含め、知識や考えを言語化する活動を、意図的・計画的に授業に位置づけることが大切になる。